

会期:2019年6月6日(木)~6月9日(日)

会場:名古屋国際会議場

会頭:名古屋大学 秋山 真志 先生



第118回日本皮膚科学会総会 ランチオンセミナー31

外用爪白癬治療薬を 使いこなす

～長期使用例を含めた当科484例の検討～

学会 **4** 日目 日時:2019年6月9日(日)12:35-13:35

会場:名古屋国際会議場 第6会場(3F 431+432)

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

座長

東京医科大学 皮膚科学分野 主任教授

坪井 良治 先生

演者

NTT東日本関東病院 皮膚科 部長

五十嵐 敦之 先生

*当セミナーは整理券制です。整理券の枚数には限りがございますので、
あらかじめご了承ください。

配布時間:6月9日(日)7:30~12:05

配布場所:名古屋国際会議場[1号館]1F アトリウム(総合受付付近)

アプリでも整理券の発券ができます:6月9日(日)8:30~12:05

第118回日本皮膚科学会総会 ランチョンセミナー31

外用爪白癬治療薬を 使いこなす

～長期使用例を含めた当科484例の検討～

演者

NTT東日本関東病院 皮膚科 部長

五十嵐 敦之 先生

爪白癬は高齢者に多い疾患であり、薬物相互作用・副作用の懸念から、内服薬が不適である患者も多く存在する。そうした中、2014年に日本で初めての爪白癬外用薬であるエフィナコナゾール爪外用液が発売され、爪白癬の治療には外用薬が多く使用されるようになってきている。

今回、当科において爪白癬と診断されエフィナコナゾール爪外用液を処方された484例の実臨床における効果を検討したので解説する。中には、1年以上の長期投与によって完治する症例もあり、改めて継続的に使用することの重要性が示唆された。また、爪が肥厚した症例や改善が停滞している症例においては、爪甲切削処置により薬剤の局所到達性が高まることで優れた効果を確認することができた。治療の成功には患者のアドヒアランス向上も必須であるため、本講演では当科で行っているアドヒアランス向上の取り組みも併せて紹介する。